

国語科

2 年生

▶ 1 年間の授業計画

授業 内 容	1 言葉を感じる	4 思いを深める	8 描写を味わう
	2 作品を読み解く	5 説得力を高める	未来への扉
	3 伝え方を工夫する	6 伝統文化を味わう	
		7 表現を考える	
	1学期	2学期	3学期

▶ 使用教材

・ワーク ・便覧 ・漢字ワーク ・eライブラリ

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	考査 漢字・文法テスト 書写	知識が定着し得点につながっているか。 文字の特徴を捉え、正確に書けているか。
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	考査 作文・プレゼンテーション等 音読・暗唱・聞き取りテスト	知識を用いて、応用問題などにも取り組んでいるか。 自分の伝えたいことを効果的に表現し、わかりやすくまとめることができているか。 古典特有のリズムを意識し、声に出して読むことができているか。
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	プリント等の内容 ノート・ワーク 発表	授業内容をしっかりと記入することができるか。 授業で習った範囲をしっかりと学習できているか。

▶ 家庭学習のポイント

○ 授業の内容をしっかりと復習するため、ワークに取り組みましょう。
間違えたところは、書き直しをするようにしましょう。

○ 次の授業の内容を教科書で確認し、授業に取り組みましょう。

▶ 考査前の学習ポイント

○ 考査範囲の教科書・ノート、ワークで間違えたところを見直すようにしましょう。
○ 文法や漢字など、言語事項を何回も繰り返し、取り組みましょう。

▶ 考査後の学習ポイント

○ 言語事項を中心に、間違えたところの復習をしましょう。

社会科

2 年生

▶ 1 年間の授業計画

授業 内 容	・ 地理 身近な地域の調査、日本の地域的特色	・ 地理 日本の諸地域	・ 地理 日本の諸地域
	・ 歴史 武家政権の展開と世界の動き	・ 歴史 近代国家の歩みと国際社会	・ 歴史 近代国家の歩みと国際社会
	1学期	2学期	3学期

▶ 使用教材

・ ワーク(地理・歴史) ・ eライブラリ

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	考査 小テスト 授業プリント	基礎知識の定着等の基本的な取組み 姿勢を評価する。
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	考査 授業プリント	基礎知識を生かした応用（グラフや 資料の読み取り方）やレポート内容 など表現する力も評価する。
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	考査 授業プリント ワークなどの提出物への取り組み	授業プリントの記入内容や授業で 習った範囲の復習等、学習へ主体的 に取り組んでいるかを評価する。

▶ 家庭学習のポイント

- 授業の内容をしっかりと復習するため、ノートをまとめるときに自分のわからない単語や
語句、事象などを調べてみよう。
- ワークを復習に活用しよう。授業が終わったら習ったところに取り組むようにしてみよう。
- 次の授業の内容を、教科書で見てから授業に取り組んでみよう。
- **分からないことをそのままほったらかしにせず**、早く解決できるようにしよう。

▶ 考査前の学習ポイント

- 出題範囲を正しく理解し、**教科書の太字を中心に**確認しておこう。
- 出題範囲のワークを**何回も繰り返し**取り組むようにしてみよう。
- 出題範囲に分からない点がない状態にしておこう。

▶ 考査後の学習ポイント

- 考査問題（解答）は捨てない。ファイル保存おすすめです。
- 間違えた問題は見直すようにしよう。

数学科

2 年生

▶ 1 年間の授業計画

授 業 内 容	1 章 式の計算	3 章 1 次関数	5 章 三角形と四角形
	2 章 連立方程式	4 章 図形の性質と合同	6 章 データの活用
	3 章 1 次関数	5 章 三角形と四角形	7 章 確率
	1 学期	2 学期	3 学期

▶ 使用教材

ワーク、eライブラリ、プリント（授業、スタプリ）

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	考査 授業での取り組み 提出物（ノート） 小テスト	基礎・基本が知識として定着し、得点につながっているか。 課題への取り組み。
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	考査 授業での取り組み 提出物（ファイル） 小テスト	基礎・基本を用いて、応用問題に取り組んでいるか。
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	考査 提出物（テストの振り返り） 考査直しテスト	既習内容の復習に取り組んでいるか。テストの取り組みを振り返り、自分の学習方法などを分析、調整できているか。

▶ 家庭学習のポイント

- その日に習った内容で分からないところにチェックを入れておき、後日、確認する。
- 教科書やeライブラリ・授業プリントを使って、習った範囲の問題に取り組む。
- ワーク・eライブラリを用いて、授業内容の復習に何度も取り組む。

▶ 考査前の学習ポイント

- eライブラリや教科書の巻末の問題に取り組む。
- 分からない問題は、後日、先生や友だちに解き方を質問して、解けるようにする。
- 教科書やeライブラリを終えて余裕があれば、復習をする。

▶ 考査後の学習ポイント

- テスト用紙はファイルするなどして保管し、間違えた問題は必ず解き直すこと。

▶ 1年間の授業計画

授 業 内 容	化学変化と原子と分子			
		生物の体のつくりとはたらき		
			電流とその利用	
				地球の大気と天気の変化
	1学期	2学期	3学期	

▶ 使用教材 ・ワーク ・ eライブラリ

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	考査・単元テスト ミニテスト 実験活動・実験レポート ワーク	知識が定着し得点につながっているか。 実験操作を積極的に、かつ指示を聞きながら行動できているか。 その操作が身についているか。
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	考査 実験レポート プリント	知識を用いて、応用問題などにも取り組んでいるか。実験の考察をより深く書くことができているか。
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	プリント・ワーク ミニテスト・授業での班活動や発表など	プリントに授業内容をしっかりと記入し、さらに自分の活動を振り返ることができているか。疑問をもち進んで調べているか。 出題範囲をしっかりと学習しているか。

▶ 家庭学習のポイント

- 授業の内容をしっかりと復習するため、プリントにまとめるときにわからない単語や語句、事象などを調べてみよう。また、身近な事との関連を考えてみよう。
- ワークやeライブラリを活用しよう。授業が終わったら復習しよう。
- 次の授業の内容を、見てから授業に取り組んでみよう。

▶ 考査前の学習ポイント

- 範囲内の実験に内容はしっかり見よう（操作方法、操作の意味も含めて）
- 公式はしっかり覚え、どんな風に公式を当てはめるのか確認しよう。
- 重要単語は意味が説明できるように見直しておこう。

▶ 考査後の学習ポイント

- テスト直しをし、計算問題は必ず解き直しをしよう。
解き直ししてつまづいたところは聞き直して自分の力で解けるようにしよう。

音楽科

2 年生

▶ 1 年間の授業計画

授業内容	・「夢の世界を」「夏の思い出」 ・サンタルチア ・「フーガ ト短調」 など	・音楽コンサート合唱曲 ・「交響曲第5番 ハ短調」 ・「荒城の月」 など	・歌舞伎 ・ギター ・「アイーダ」 など
	1学期	2学期	3学期

▶ 使用教材

・ワーク

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	各テスト・実技テスト・レポート ワークシート・実音テストなど	・知識が定着し、得点につながっているか。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身につけられているか。
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	各テスト・レポート・実音テスト ワークシートなど	・音楽表現を創意工夫し、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができているか。
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	各テスト・レポート・ワークシート 授業に取り組む姿勢等	主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組むことができているか。

▶ 家庭学習のポイント

- 授業内で配られたプリントを確認しておきましょう。
- ワークの問題を解いて、間違えたところは復習しておきましょう。
- 次の授業の内容を確認してから授業に取り組みましょう。

▶ 考査前の学習ポイント

- 授業内で配られたプリントを確認しておきましょう。
- ワークの問題を解いて、間違えたところは復習しておきましょう。
- 実技テストは日ごろから言われているポイントを忘れずに挑みましょう。

▶ 考査後の学習ポイント

- 間違えたところは何度も復習をしましょう。

美術科 2 年生

▶ 1 年間の授業計画

授 業 内 容	・季節感のある暮らし 和菓子、観賞【琳派】 ・形と色の挑戦 グラウンドに水でチック柄のハンカチを描く ・鑑賞【ソーシャリーエンゲージドアート】 ・鑑賞【ピエト・モンドリアン】 抽象絵画（要素化）	・地域の魅力を表すパッケージ ・明日の神話を鑑賞しよう ・空想の世界へようこそ デバイズマン 鑑賞【ルネ・マグリッド】	・日本の絵画を楽しむ五つのキーワード ・ゴッホと浮世絵 ・心の中の風景を表す 版による表現
	1学期	2学期	3学期

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	期末考査 (筆記・実技)、 制作作品、 美術プリントファイル など	◇絵の具の重なり合いや発色、マチエールといった要素を認識して、自分の表現したいことを図形と色彩で表しているか。 ◇形、色彩、材料の性質や質感、使われている技法を理解し、作品への効果を読み取り、自身の制作に実践して生かすことができているか。 ◇形、色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解しているか。 ◇材料の性質や道具を利用し、効果的に造形づくりや着色を行っているか。 ◇材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表しているか。 ◇材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって表しているか。 ◇造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解しているか。
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	期末考査 (筆記・実技)、 制作作品、 美術プリントファイル など	◇重色表現による多層的で主体的な画面構成を試みて、意味・内容を生み出せているか。 ◇目⇔頭⇔手（造形的なものの見方）について理解しているか。（目と頭と手を双方向に活用させて色や形を捉えている） ◇対象や事象（できごと）を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っているか。 [自分にとってのリアリティ(自分にとってかけがえのないもの・ことを見つけ大切にしている)] ◇構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っているか。 ◇伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っているか。 ◇使う目的や条件などを基に、使用する者の立場、社会との関わり、機知(その場に応じてとっさに働く知恵や心)やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っているか。 ◇造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めているか。 ◇目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めているか。 ◇身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めているか。 ◇日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めることができているか。
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	ふり返しシート、 美術プリントファイル など	◇めあてに応じて、自分の制作のうまくいったこと、頑張ったこと、難しかったこと、次に気をつけたいことを自己省察できているか。 ◇自分なりの造形言語を獲得しているか。 ◇自らよく考え、思考の過程が見えているか。 ◇自らの学習過程に目を向けて調整しようとしているか。 ◇自身の作品制作や鑑賞に粘り強く取り組んでいるか。 ◇課題の期限を守り提出しているか。

▶ 家庭学習のポイント

- 教科書や資料集、ふり返しシート、美術プリントファイルの確認 ○気になった内容を調べてみる（GIGA端末の活用）
- 心や感性を通した事物事象（できごと）との関わりを大切にする（例えば美術館で作品と出会う、家族や友人との時間、日常）

▶ 考査前の学習ポイント

- 教科書や資料集、ふり返しシート、美術プリントファイルの確認 ○美術プリントファイルの整理（期末考査後提出あり）

▶ 考査後の学習ポイント

- 期末考査のふり返し、教科書や資料集、ふり返しシート、美術プリントファイルの確認

保健体育 科

2 年生

▶ 1 年間の授業計画

授 業 内 容	・ 体づくり運動 ・ 球技ネット型 ・ 水泳 ・ 保健、体育理論	・ 陸上競技 ・ 球技ゴール型 ・ 器械運動 ・ 武道 ・ 保健、体育理論	・ 球技ベースボール型 ・ 球技ネット型 ・ 保健、体育理論
	1学期	2学期	3学期

▶ 使用教材 体育実技、体育ノート、保健教科書、保健ワーク

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	・ 定期考査 ・ 技能テスト など	・ 知識が定着し得点につながっているか。 ・ 技能のポイントを実践できているか。 ・ 知識や技能のポイントを記述できているか。
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	・ 毎時のノート・ワーク課題 (課題振り返り・課題解決への考え方) ・ 定期考査 ・ 単元まとめレポート (思考・判断・表現) ・ 授業目標への取り組み・姿勢 など	・ 自己や仲間の課題を発見しているかどうか。 ・ 科学的な知識や技能を学習場面に適用したり 応用しているか。
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	・ 単元まとめレポート (自己の課題をみつけ、単元ごとの振り返り) ・ 授業への取り組み・姿勢 など	・ 話し合いなどで自らの意思を伝えたり、仲間の意見を聞き入れているか。 ・ 単元ごとに課題に対して、取り組みなどを分析し、振り返りができているか。

▶ 家庭学習のポイント

- 授業の内容を理解するため、技術の名称やその行い方をイメージしたり、実践しよう。
- ワーク・プリントを復習に活用しよう。授業が終わったら習ったところをしてみよう。
- 次の授業の内容を、見てから授業に取り組んでみよう。

▶ 考査前の学習ポイント

- 範囲内の内容はしっかり見よう。
- 保健分野では特に実生活に結びつけて考えよう。

▶ 考査後の学習ポイント

- 間違えたところは解きなおして、理解できるようにしよう。

技術科

2 年生

▶ 1 年間の授業計画

授業 内 容	・ エネルギー変換の技術 ・ 情報の技術	・ はんだづけの実践 (実習作品の作成) ・ プログラミングの学習	・ プログラミングの学習
	1学期	2学期	3学期

▶ 使用教材

- ・ 教科書

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	定期テスト・製作物・実技テスト レポート・授業プリント・発表ノートなど	・ 知識が定着し、得点につながっているか ・ 作品づくり等を通して技能が身についているか
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	定期テスト・製作物・実技テスト レポート・授業プリント・発表ノートなど	・ 知識を用いて生活をよりよくする方法を考えることができるか ・ 考えた内容をわかりやすく表現することができるか
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	定期テスト・製作物・実技テスト レポート・授業プリント・発表ノートなど	・ 実習に意欲的に取り組んでいるか ・ レポートや授業プリント・発表ノートにきちんと取り組んでいるか

▶ 家庭学習のポイント

- 授業で習得した技能を家庭で実践する
- 授業で使ったプリントを見直してみる
- 授業で気になったことを調べる

▶ 考査前の学習ポイント

- 教科書や配布されたプリントを中心に学習する
- 授業で使ったプリントをきちんと整理しておく

▶ 考査後の学習ポイント

- 間違えた問題を復習する

家庭科

2 年生

▶ 1 年間の授業計画

授業内容	・ 食事の役割と中学生の栄養の特徴 ・ 調理のための食品の選択と購入 ・ 被服実習	・ 日常食の調理と地域の文化 ・ 被服実習	・ 調理実習 ・ 中学生に必要な栄養を満たす食事
	1学期	2学期	3学期

▶ 使用教材

教科書・家庭科ワーク・ノート

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	定期テスト・製作物・実技テスト レポート・授業プリント・ワークなど	・ 知識が定着し、得点につながっているか ・ 裁縫の技能が身についているか
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	定期テスト・製作物・実技テスト レポート・授業プリント・ワークなど	・ 知識を用いて生活をよりよくする方法を考えることができるか ・ 考えた内容をわかりやすく表現することができるか
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	定期テスト・製作物・実技テスト レポート・授業プリント・ワークなど	・ 実習に意欲的に取り組んでいるか ・ レポートやワークにきちんと取り組んでいるか

▶ 家庭学習のポイント

- 授業で習得した技能を家庭で実践する
- ワークノートの空欄の部分を記入する
- 気になった内容を調べてみる

▶ 考査前の学習ポイント

- ワークを中心に学習しておく
- 教科書の太字部分を確認する

▶ 考査後の学習ポイント

- 間違えた問題を復習する

英語 科

2 年生

▶ 1 年間の授業計画

授業 内容	未来を表す表現 接続詞 不定詞 助動詞	There is / are ~. 動名詞 give A B call A B 比較級	現在完了
	1学期	2学期	3学期

▶ 使用教材

ワーク、eライブラリ、ハバ単

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	考査 小テスト パフォーマンステスト	基礎・基本の知識が定着し得点につながっているか。
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	考査 小テスト パフォーマンステスト	知識を用いて、応用問題などにも取り組めているか。英文を理解することができている
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	考査 小テスト・単語テスト スピーキングテスト 授業への取り組み状況 ワークなどの提出物の取り組み状況	主体的・協同的に学習に取り組むことができているか。 各Lessonごとの学習内容にきちんと取り組んでいるか。

▶ 家庭学習のポイント

- その日に習った内容を必ず復習する。
- 単語や熟語を何度も継続的に書いて練習する。
- ワークやタブレットドリルなどを使って、習った範囲の問題に取り組む。
- 英文の分からない箇所にチェックを入れ、必ず確認する。

▶ 考査前の学習ポイント

- 教科書・プリントを見返したり、ワークを何度も繰り返し行い、出題範囲を必ず理解する。
- 新出単語・熟語を覚える。
- 分からない箇所は友人や先生に聞く。

▶ 考査後の学習ポイント

- テスト用紙はファイルするなどして保管し、間違えた問題は必ず解き直すこと。

道徳科

全学年

▶ 1 年間の授業計画

- ・年間を通して、22の内容項目をA～Dの4つの視点に分けて履修します。

▶ 4つの視点と内容項目

A 主として自分自身に関すること	B 主として人との関わりに関すること
・ 自主、自律、自由と責任 ・ 節度、節制 ・ 向上心、個性の伸長 ・ 希望と勇気、努力と強い意志 ・ 真理の探究、創造	・ 思いやり、感謝 ・ 礼儀 ・ 友情、信頼 ・ 相互理解、寛容
C 主として集団や社会との関わりに関すること	D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
・ 遵法精神、公德心 ・ 公正、公平、社会主義 ・ 社会参画、公共の精神 ・ 勤労 ・ 家族愛、家庭生活の充実 ・ よりよい学校生活、集団生活の充実 ・ 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 ・ 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 ・ 国際理解、国際親善	・ 生命の尊さ ・ 自然愛護 ・ 感動、畏敬の念 ・ よりよく生きる喜び

▶ 使用教材

- ・ 幸せ運ぼう
- ・ 心かがやく

▶ 評価

- ・ 1年間の取り組みを個人内評価として見とり、年度末に記述による評価をする。

評価の資料	評価のポイント
授業内の発表 ノートやワークシート 作文やレポートなどの記録物 スピーチやプレゼンテーションなどの実演 振り返り	授業で学んだことを自分の中で深めようとしているか。 自分の中で成長を実感できているか。 他者の考えを知る中で、自分の考えを発展させることができているか。

▶ 家庭学習のポイント

- あいさつや礼儀など、授業で習ったことを日常生活でも意識しよう。
- 普段から、周りの人を思いやる発言・行動をしよう。